Creative Enzymes®

カゼインキナーゼ Iδ ラット、組換え

Cat. No. NATE-0140

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ケースインキナーゼ1ファミリーのタンパク質キナーゼは、ほとんどの真核細胞タイプにおけるシグナル伝達□路の調節因子として機能するセリン/スレオニン選□的酵素です。CK1アイソフォームは、Wntシグナル伝達、概日リズム、転写因子の核-細胞質シャトリング、DNA修復、DNA転写に関与しています。
別名	カゼインキナーゼIδ; カゼインキナーゼI; CK-Iδ; CK-I; 非特異的セリン/スレオニンタンパク質キナーゼ; タンパク質ホスホキナーゼ; タンパク質セリンキナーゼ; タンパク質セリン-スレオニンキナーゼ; タンパク質-セリンキナーゼ; セリンキナーゼ; セリンタンパク質キナーゼ; セリン（スレオニン）タンパク質キナーゼ; セリン特異的タンパク質キナーゼ; セリン/スレオニンタンパク質キナーゼ; スレオニン特異的タンパク質キナーゼ

製品情報

種	ラット
由来	大腸菌
形態	解決策
分子量	mol wt 41.8 kDa
純度	> 90% (SDS-PAGE)
活性	1,000-3,000 ユニット/mg タンパク質
緩衝液	20 mM HEPES pH 7.5、1 mM DTT、1 mM EDTA、0.1% CHAPS、250 mM NaCl、20 µg/ml アプロチニン、50% グリセロールの溶液。
代謝□路	細胞周期、特定生物系; 細胞周期、分裂期、特定生物系; セントロソーム成熟、特定生物系; サーカディアンリズム-哺乳類、特定生物系; サーカディアンリズム-哺乳類、保存された生物系; G2/M遷移、特定生物系; ギャップジャンクション、特定生物系
機能	ATP結合; ATP結合; 糖タンパク質結合; ヌクレオチド結合; ペプチド結合; リン酸化タンパク質結合; タンパク質結合; タンパク質キナーゼ活性; タンパク質キナーゼ活性; タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性; タンパク質セリン/スレオニンキナーゼ活性; タウタンパク質キナーゼ活性; 転移酵素活性、リン含有基を転送
単位定義	1ユニットは、30°C、pH 7.5でATPからα-カゼインへの1 nmolのリン酸の移動を1分あたり触媒します。

使用法とパッケージング

調製方法	CK-IδΔ317は、N末端触媒ドメインのアミノ酸1-317からなるCK-Iδの切断型です。

保管・発送情報

安定性	−20°C